

経営比較分析表

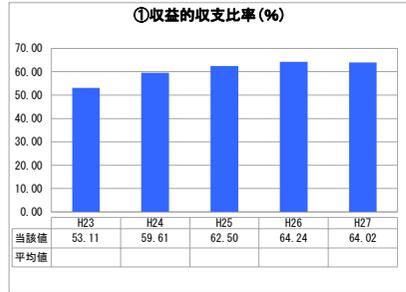
山形県 舟形町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	48.60	70.28
1か月20㎡当たり家庭料金(円)			
3,024			

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,736	119.04	48.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,742	2.08	1,318.27

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

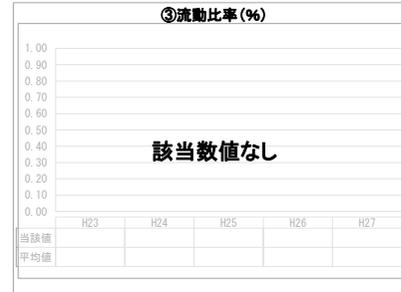
1. 経営の健全性・効率性



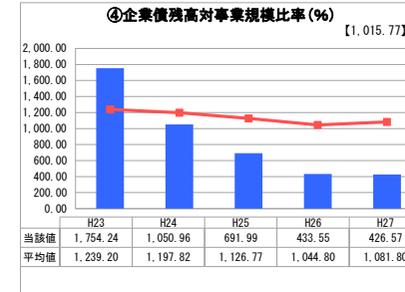
「単年度の収支」



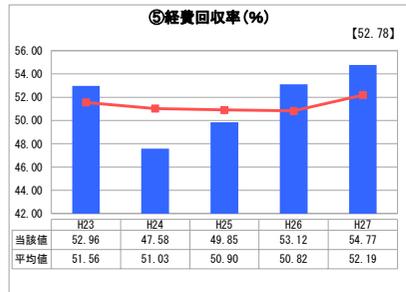
「累積欠損」



「支払能力」



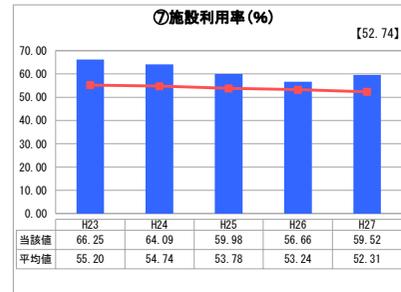
「債務残高」



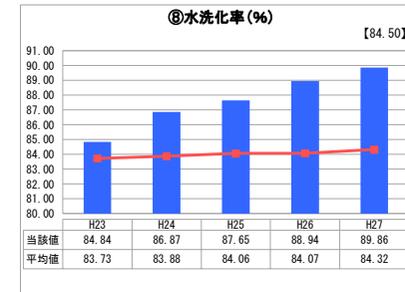
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

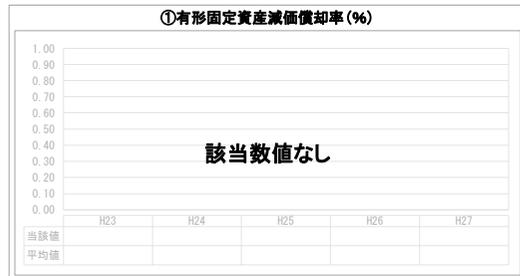


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率について、農業集落排水接続率は増加しているが、新規接続に伴う増加よりも人口減少による接続率増加の占める割合が高く、料金収入の増加が見込めない状態にあるため、料金改定等の対策が必要である。

企業債残高対事業規模比率については、事業が完了していることもあり、現在は類似団体平均値を大きく下回っているが、老朽化による改修費用により今後増加する可能性が高いため、集落排水区域を合併するなどして経費削減に努め対応していきたい。

経費回収率については、現在は平均値を上回っているが、今後施設の老朽化等による修繕、改修経費の増加が予想されるため、施設統合等により維持経費削減に努めたい。

汚水処理原価は平均よりも下回っているが、今後も経費節約に努めると共に、接続を呼び掛け、汚水処理原価を抑えるよう努める。

施設利用率には平均値を上回っているが、接続率増加の要因が新規接続件数の増加ではなく、人口減少によるものため、今後の施設利用率定価が懸念される。施設統合等により経費削減と施設利用率増加を図りたい。

水洗化率は年々増加傾向にあるが、接続率が約90%近くまで来ているため、伸び率が減少してきている。接続率100%を目指し継続して接続の呼び掛けしたい。

2. 老朽化の状況について

供用開始から20年以上経過する施設が5施設中2施設あり、老朽化が著しい。

現在は修繕等により何とかもっているが、ストックマネジメント計画を策定して計画的に点検、補修していきたい。

また、人口減少が著しいことから、施設の処理量に余裕があるため、老朽化した施設を新しい施設に統合するなどして対応していく予定である。

全体総括

施設の老朽化による点検改修費用の増加、人口減少による使用料の減少による経営状態悪化を防ぐため、老朽化施設はストックマネジメント計画を策定し、計画的に点検、補修をする必要がある。

また、施設の維持管理費用を削減するために、人口減少で処理量に余裕がでてきている施設に老朽化している施設を統合して対応していきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。